

衣笠山地蔵院は西芳寺の南にあり、禪宗にして天龍寺に属す。本尊は地蔵尊にして、開山は宗鏡禪師なり。「夢窓
国師こくしの法嗣にして字を碧潭へきたんと号す」旧此地は衣笠内大臣家良公きぬがさないだいじんいへよしこうの山荘あり。「後山を衣笠山きぬがさといふ」細川頼之ほそかはよりゆき当寺を建
立して諸堂嚴重たり。「応仁の兵火に罹て亡廢す、今延慶庵えんけいあんのみ遺れり」不動ふどうの井ゐ「衣笠山きぬがさの麓にあり」